

決算報告書

独立行政法人農畜産業振興機構

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額	備 考
収入				
運営費交付金	1,687	1,687	-	
国庫補助金	1,204	1,204	-	
その他の政府交付金	80,004	80,004	-	
業務収入	76,732	83,627	△ 6,895	
拠出金	9,948	9,143	805	
負担金	3,006	2,303	703	
納付金	2,799	1,409	1,391	
資金より受入	42,244	2,239	40,005	
借入金	22,748	22,585	163	
諸収入	128,936	138,567	△ 9,631	
計	369,308	342,769	26,540	
支出				
業務経費	316,740	200,010	116,729	次年度への予算繰越額は畜産振興事業費16,657百万円(うち補助金16,655百万円、拠出金2百万円)、糖価調整事業費は、57百万円、でん粉価格調整事業費51百万円、肉用子牛補給金等事業費は、15百万円
借入金償還	15,201	15,201	0	
人件費	2,526	2,224	303	
一般管理費	574	510	64	次年度への予算繰越額は11百万円
その他支出	58	79	△ 20	
計	335,099	218,023	117,076	

注1:表示金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

注2:畜産振興事業費の次年度への予算繰越額は、肉用牛肥育経営安定特別対策事業11,876百万円(うち補助金11,874百万円、拠出金2百万円)、酪農経営総合対策1,958百万円、肉用牛経営安定対策補完事業1,474百万円、養豚経営安定対策補完事業5百万円、畜産特別支援資金融通事業72百万円、家畜防疫互助基金支援事業383百万円、畜産副産物適正処分等推進事業757百万円、粗飼料確保緊急対策事業129百万円及びシステム開発に係る経費3百万円の合計です。

注3:糖価調整事業費、でん粉価格調整事業費及び肉用子牛補給金等事業費の次年度への予算繰越額は、システム開発等に係る経費です。

注4:一般管理費の次年度への予算繰越額は、システム開発等に係る経費です。